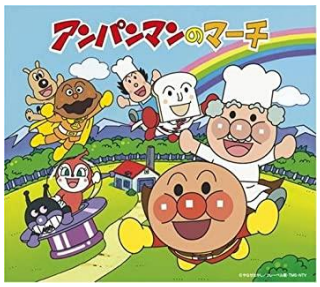
# 届け 世界の果てまでも

令和４年７月５日　　Ｎｏ．２３　　文責　校長　飯久保一男

## アンパンマンのマーチ




前号に掲載した，やなせたかしさんに関わってもう少し書かせていただきます。

このところ，２年生や３年生が休み時間に校長室によく遊びに来ています。前号の校長通信がパソコンの画面に出ていたところ，それを見て「あ，アンパンマンだ！」と見つけた子がいました。近寄ってきた子どもたちに「アンパンマンは困っている人に自分の顔をちぎってあげるんだよ」と言ったところ「知ってるぅ」と数人の声がそろいました。校長は何を分かり切ったことを今さら言っているんだという反応でした。アンパンマンって子どもたちによく知られているんだなぁと改めて実感しました。

さて，アニメ化されるにあたって，やなせたかしさんは主題歌「アンパンマンのマーチ」をつくりました。ところがその歌詞を見ると，アンパンマンのアニメを見る子どもの年齢からすると，理解の難しい内容の歌詞になっています。

そうだうれしいんだ　生きるよろこび　たとえ胸の傷がいたんでも

なんのために生まれて　なにをして生きるのか
こたえられないなんて　そんなのはいやだ！
今を生きることで　熱いこころ燃える
だから君はいくんだ　ほほえんで
そうだうれしいんだ　生きるよろこび
たとえ胸の傷がいたんでも
ああアンパンマン　やさしい君は　いけ！　みんなの夢まもるため

なにが君のしあわせ　なにをしてよろこぶ
わからないままおわる　そんなのはいやだ！
忘れないで夢を　こぼさないで涙
だから君はとぶんだ　どこまでも
そうだおそれないで　みんなのために
愛と勇気だけがともだちさ
ああアンパンマン　やさしい君は
いけ！　みんなの夢まもるため

時ははやくすぎる　光る星は消える
だから君はいくんだ　ほほえんで
そうだうれしいんだ　生きるよろこび
たとえどんな敵があいてでも
ああアンパンマン　やさしい君は
いけ！　みんなの夢まもるため

実は，やなせさんの弟は，太平洋戦争で海軍に志願し「特攻隊」として戦場でその生涯を閉じています。

＜特攻隊＞　ご存知だと思いますが，太平洋戦争の末期に，日本軍の作戦により編成した，生きて帰ることの許されない体当り攻撃部隊です。飛行機に爆弾を積んで，パイロットごと敵に体当りする作戦でした。沖縄戦では，１９４５年４月・５月を中心に陸海軍あわせて約２５００機もの特攻機が出撃しています。特攻には，旧型機や水上機，練習機まで，あらゆる種類の飛行機が使われました。アメリカ軍の迎撃を受け，大多数の特攻機は体当たり前に撃墜され，体当たりできたのは１割ほどだとされています。

他にも，人間魚雷「回天」，体当り用のモーターボート「震洋」などの特攻作戦も行われました。さらに，地上戦では，爆弾を抱いた兵士を敵の戦車に体当りさせる作戦もあったとのことです。

そして，これらの特攻に志願し，特攻隊に所属したのは，１０代から２０代の未来多き若者でした。

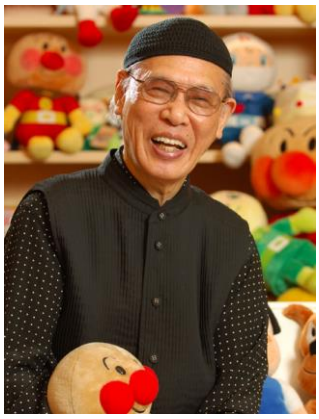
このことを理解した上で，もう一度「アンパンマンのマーチ」の歌詞を見ると違う感想が浮かんできます。やなせさん自身が「戦争はキライ」と認めてはいないのですが，やなせさんの弟への思いが込められているように感じてしまいます。

生きる喜びとは何だったのか，何のために生きたのか
愛と勇気を友だちに，恐れないで飛んでく幸せとは？
その答えを知らずに生きていくなんて…，終わっていくなんて…，嫌なことだ
みんなの夢を守ることが，うれしいこと・生きる喜びだったのか
だから優しい君は，微笑んで飛んで行ったのか…，どんな敵が相手でも

ロシアによるウクライナ侵攻の報道が毎日されています。今，現実に戦火の中で苦しんでいる人々がいます。日本にも悲しい戦争の歴史があります。夏休み中には，終戦の日や広島・長崎の原爆の日などがあり，戦争に関わる報道やドラマなどもあると思います。図書室にも戦争に関わる本はたくさんあります。子どもの年齢に合わせてですが，親子で戦争について考えてみる機会があるといいと思います。

## ◆◆ やなせたかしさんの言葉 ◆◆◆◆◆◆◆

難しい仕事や未知の仕事には，好奇心と冒険心をそそられる。
新しいことに挑戦するのはすごいチャンスだと思う。
声をかけられたら，「できない」と断らずに，無理やりでもやってしまえばいいんだ。



「恥ずかしいからやらない」のではなく，
「恥をかいてもやってみる」ほうが，
人生はおもしろいし，そこから得るものがある。

経験したことすべてが役立つんです。
だから失恋しても，泥棒にあっても，戦争にあっても，病気しても，
目の前に起こることすべてが役立つんですよ。